

Correlation between Thyroid Stimulating Hormone and Renal Function in Euthyroid Residents of Japan: Results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS)

田中, 佑樹

<https://doi.org/10.15017/1931782>

出版情報 : 九州大学, 2017, 博士 (医学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : (c) Japan Atherosclerosis Society. CC BY-NC-SA

氏 名：田中 佑樹

論 文 名：Correlation between Thyroid Stimulating Hormone and Renal Function in Euthyroid Residents of Japan: Results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS)

(一般住民における甲状腺機能正常範囲内の血清甲状腺刺激ホルモンと腎機能との関連 Kyushu Okinawa Population Study (KOPS) 研究より)

区 分：甲

論 文 内 容 の 要 旨

目的：一般住民健常者における甲状腺機能正常範囲内の血清甲状腺刺激ホルモン thyroid stimulating hormone (以下 TSH とする) 値と腎機能との関連を評価した。

方法：対象は、2012 年に九州の 1 地域の住民健診を受診した 1,374 例のうち、文書で同意が得られた 888 例の健常者である。対象者を TSH 正常低値群、TSH 正常高値群、潜在性甲状腺機能低下症群の 3 群に分類し、対象者全体と 3 群それぞれにおいて解析を行った。

結果：対象 888 例の血清 TSH の平均値は $2.0 \pm 1.4 \mu\text{IU/mL}$ であった。対象者のうち 75.9% (674 例) が TSH 正常低値群、17.9% (159 例) が TSH 正常高値群、6.2% (55 例) が潜在性甲状腺機能低下症群に該当した。推算糸球体濾過量は、血清 TSH 値高値に伴って有意かつ段階的に低値となった (TSH 正常低値群 79.3 ± 14.1 ; TSH 正常高値群 77.4 ± 13.0 ; 潜在性甲状腺機能低下症群 $72.3 \pm 12.2 \text{ mL/min/1.73m}^2$: P for trend < 0.01)。重回帰分析では、TSH 値と腎機能との独立した関連は TSH 正常高値群のみで認められた (beta 値 = -0.18, P 値 = 0.02)。

結語：一般住民健常者において、潜在的な甲状腺機能障害に伴う腎機能低下が血清 TSH 正常高値の段階から生じている可能性が示唆された。